

倉敷市立児島市民病院 病院広報誌

「赤レンガ」

【平成26年度・第5号(新春号)】

発行：倉敷市立児島市民病院広報委員会・地域医療連携室

発行月：平成27年1月



「蒜山の水車小屋」 （当院職員撮影）

「蒜山」の冬は長く厳しい時期です。蒜山高原の1月・2月の平均気温は0℃台であり、温暖な気候の岡山県におけるウインターリゾートの一大拠点と様変わりします。蒜山周辺には「ひるぜんベアバレースキー場」や「上蒜山スキー場」などのスキー場が点在しております。この写真は蒜山にたたずむ、とある蕎麦屋さんにある水車小屋です。

（参考：蒜山高原観光協会HP等）

巻頭言：謹賀新年

昨年は格別のご厚情を賜り、御礼を申し上げます。本年も職員一同、皆様にご満足をいただける医療の提供を心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご支援を賜われますようお願い申し上げます。

＜目次＞

P. 1 表紙「蒜山の水車小屋」・巻頭言 P. 2 院長挨拶

P. 3 チーム医療紹介：緩和ケアチーム P. 4 連携のひろば（やまな内科整形外科）

折込資料：「外来診療予定表」「資料：倉敷市立児島市民病院 病院改築基本設計について」

新年のご挨拶

院長 江田良輔

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、温かいご支援、ご高配を賜り誠にありがとうございました。おかげさまで、当院も一歩ずつですが、確かな成長、基盤が身についてきているように思います。皆様に安心して利用していただける「児島市民病院ブランド」が少しずつでも芽生えるよう尽力いたします。

黒字化を受けて、平成 24 年度から市民病院建て替え事業として昭和設計・三木設計 JV とひざ詰めで 2 年間熟慮に熟慮を重ねて、伊東市長裁定のもと、ついに渾身の基本設計が完成しました！（詳しくはホームページをご覧ください）

決して奇抜でも、ゴージャスでもありませんが、いろんなところに特色と工夫があり、「いいものができた！」と自負しております。27 年度早々に建設会社を決定（入札）し、着工、建築作業が順調にいけば（それでも 2 年半くらい）、平成 29 年秋ごろに新病院オープンの予定です。いくら外見や施設面がよくても、肝心要の中身（診療の質と機能）がなければ、皆様に選んでいただける病院にはなりません。建物に魂をいれるべく、これからの 2-3 年間はさらなる尽力、新たな工夫、戦略、優秀な人材獲得など、知恵、変化、実行を積み上げ、皆様の付託に応えたいと思います。病院機能の骨格は、①倉敷南部の 1 次・2 次救急に貢献できる病院、②子供を産み、育てられる町にする、③緩和医療の充実・がん難民をつくらない、④これからは在宅医療の時代、地域包括ケアを推進し、基幹病院として機能する、⑤リハビリテーションが得意な病院として発展する、⑥疾患を予防・早期発見する医療サービスを重視する、⑦災害に強い病院として機能する、⑧倉敷市の唯一の市民病院としてステータス・存在感を示す、などです。

今年度は、昨年に地域包括ケア病棟（38 床）を新設しましたので、職員（医師も含む）も病院の外に出て、児島医師会の先生方と強く熱くタイアップして、患者様が自宅でより質の高い療養生活が維持できるような支援活動を始動します。児島市民病院の「在宅診療」にご期待ください。

最後になりましたが、皆様のご健勝、ご発展、病気を抱えておられる方々のご快方を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。今年も何卒よろしくお願いいたします。

新任医師紹介

常勤外科医師が赴任しました。乳腺甲状腺疾患でお悩みの方は是非、ご相談ください。

川崎 伸弘

かわさき のぶひろ



役職 外科医長

資格 日本外科学会認定医、専門医 日本乳癌学会認定医

マンモグラフィ読影医師 日本甲状腺外科学会評議員

ごあいさつ

外科疾患全般を診させていただきます。これまで特に力を入れて診療してきた乳腺甲状腺疾患については、検診、診断、治療のあらゆる段階を一貫して診ていきたいと考えています。どのような病気でも軽症のものから進んだものまでいろいろな段階のものがありますが、一人ひとり異なる病態に応じた診療を心がけています。

チーム医療の紹介： 「緩和ケアチーム」

緩和ケア

緩和ケアとは…

生命を脅かす疾患に伴う問題に直面する患者と家族に対し、疼痛や身体的、心理社会的、スピリチュアルな問題を早期から正確にアセスメントし解決することにより、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質（QOL）を向上させるためのアプローチである。（2002年 WHO定義）

緩和ケアチームとは…

医師3名・看護師7名・薬剤師1名・管理栄養士1名・作業療法士1名・事務1名・医療ソーシャルワーカー1名のメンバーで構成されています。週1回の「緩和ケアカンファレンス」をして患者様やご家族・スタッフへの支援をしています。平成26年度より医療用麻薬を使用している患者様に対してオピオイド回診も行っています。

緩和ケアチームの活動内容

研修参加者の
伝達講習

ラウンド
オピオイド回診

研修案内

マニュアル
作成

症例検討
デスカンファ



2017年度、新病院の完成予想図です。

—最上階の6階に緩和ケア病棟新設—

院内外の医療職員を招いて「緩和セミナー」を開催しています。
来年度は、地域住民の方を対象に市民講座を予定しています。

院内に「がんの悩み相談室」を設置しています。お気軽にご相談ください。
お問い合わせ先：地域医療連携室



やまな内科整形外科

院長 行廣成史先生 副院長 出口静吾先生

当院は2014年8月にやまな内科整形外科と名称を改めました。大学の同級生である内科医（出口副院長）と整形外科医（行廣院長）がタッグを組み、「人にやさしく病にきびしく」の理念の下、外来や入院診療を行っています。内科では地域のかかりつけ医として、血液疾患・消化器疾患・心臓疾患をはじめ内科全般を診療し、経鼻胃内視鏡・CT・エコーなどを駆使して早期の病気診断にも努めています。整形外科では、捻挫・骨折・スポーツ障害などの急性の外傷から、加齢に伴う変形性関節症や骨粗鬆症などの慢性的な疾患まで、患者さんの生活環境や仕事に配慮して最適な治療を心がけています。リウマチ専門医による週2回のリウマチ関節外来も開設しています。病状に応じて児島市民病院をはじめ、連携する各種専門医療機関への紹介も随時行います。

2016年には、開業100年を控え、これからも努力と精進を続けて参ります。

診察時間：

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
15:00~18:00	○	○	○	○	○	-

*休診日：土曜午後・日曜・祝祭日



所在地：倉敷市児島下の町 10-2-12

電話：086-472-3012

診療科目：内科・整形外科・リウマチ科
リハビリテーション科

発行者：倉敷市立児島市民病院

住所：〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地

TEL：086-472-8111（代表）FAX：086-472-8134（連携室直通）

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/hospital/index.html>（児島市民病院で検索）